

4期16年、白川町の発展のため陣頭指揮を執り、まさに獅子奮迅のご活躍をされた今井良博前町長の功績は枚挙にいとまがありません。そのご労苦に対し心より敬意を表し、感謝御礼申し上げるものでございます。

それに引き替え、私は自分の非力、無力を棚に上げ立候補。無投票当選の栄をいただきました。この上は、今井前町長をはじめ歴代町長が残された実績を無にすることなく、それを礎としてさらに白川町発展のための町政運営に努力させていただく覚悟でございます。町民の皆様におかれましても、歳はとっておりますがまだまだ未熟な私でございます、何かとご指導のほどお願い申し上げます。

今回私は、「みんなでやろまいか」という言葉を掲げさせていただきました。

急激に進んでおります過疎化、少子高齢化は、日常生活に深刻な影を落とそうとしております。白川町の高齢化率37%強は、20年先の日本平均の姿だそうです。高齢者の皆様も、生涯現役の言葉どおり、青年、熟年と一緒に町づくりにご協力いただきたいと考えております。

町政運営には、様々なご意見があるべきです。まず、その意見を出す場を設けたいと考えております。より意見が出やすい方法も考慮しなければなりません。出た意見をどう実現するか、これが行政の職員の力量かと思えます。そして、その実現に向けても、「みんなでやろまいか」ということを提言させていただきました。

「ほっと一息心癒される町」これが私の理想の白川町像です。この実現に向け、町民の皆様のお力添えとご指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成25年9月13日

白川町長 横家敏昭